

第2期しまねの学力育成推進プラン

令和8年度 重点アクション(たつじんテスト活用編)

たつじんテストの分析結果を授業改善と個別支援にいかし、
学校全体で学びを深めましょう

授業を「つまずき」の視点からも捉えてみましょう

チームで取り組む「たつじんテスト活用ステップ」

ステップ	内 容
①気づく	たつじんテストにより、児童生徒のつまずきに気づく
②考える	気づいたつまずきを踏まえ、各教科等での支援を考える
③行う	授業や生活において、具体的な支援を行う
④共有・授業改善	学校全体で指導や支援の工夫を共有し、授業改善を行う

※このステップを通して、授業改善や個別支援の工夫につなげます。

Q₁ たつじんテストとは？

A 児童生徒のつまずきの原因を理解するためのアセスメント

教科学力の基盤となると考えられる「言葉、語彙」「数、形、量」「思考力、推論力」等について調査を行い、一般の学力調査では見取りにくい児童生徒のつまずきを把握し、授業改善や個別支援につなげることを目的としています。

Q₂ たつじんテストの活用を通して目指すことは？

A 児童生徒が「分かる」喜びを実感し、主体的に学ぼうとする意欲を高めること

※つまずきを踏まえた授業改善や個別支援を行い、「生きた知識」の育成を重視します。
「生きた知識」とは、必要な時に取り出し、他の知識と組み合わせて問題解決につなげることができる知識のことです。

具体的な取組を支える資料

たつじんテストWebシステム、しまねの教育情報Web(EIOS)等

○たつじんテストWebシステム

たつじんテストの結果を分析し、児童生徒のつまずきに対し、どのような支援が考えられるかを検討するための資料です。日々の授業改善にご活用ください。

○しまねの教育情報Web(EIOS)

・たつじんテストに関する資料 ・開発者である今井むつみ氏の講演動画 ・研修資料 等
児童生徒の学びの支援に役立つ資料を掲載しています。授業改善や校内研修等にご活用ください。